

こっぺうんまい
ほりのうちしようがっこう
おんせきはくと
ぼくは、からだがほそいです。ぼくはんにき
ようみがなぐ、いつももられたぶんだけた
だりのこしていました。のこしたときは、お
かあさんに「ごはんにごめんなさいしなさい」
といわれ、なんであやまるのかとおもいまし
た。
ぼくのすんでいるところは、おこめづくり
でゆうめいです。ことし、おとうさんがちい
さいのしようがいで、たんぼをかりておこ
めづくりをはじめました。ぼくもうえるところ
ろをてつだいました。ひとつひとつで、う
えるのはたいへんでした。うんとおわりだと
おもっていたら、たんぼのみずをみたり、お
もうをぬいたりして、おれがたいへんなんだと
はじめてしりました。まいとしおこめづくり
をしているひとたちのきもちを、おもうと、あ
りかとうのきもちで、ごはんをたくさんたがよ

うとおもいました。
いまぼくがうえたたんぼは、ぐんぐんそだ
つています。あきにいねかりをして、しんま
いがかたやれるのがたのしみです。おこめのな
まえは「こっさうんまい」です。できたらた
くさんのひとたちにたべてもらいたいです。
おいしいおこめになっているとうれしいです。
ぼくは、だいすきなたらこをのせえたがた
いな。